

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要				根拠法令・例規等	①生きがい創造事業実施要綱 ②備前市シルバーカード交付要綱
事業開始年度 平成16年度					
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	問 担当課(室) 介護福祉課 合 職・氏名 係長 森中 信行 先 電 話 64-1827 このシート作成に要した時間 1.5 時間
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目	施 策	04	高齢者福祉	
事務事業名			01	生きがい創造事業	

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	①生きがいと創造の事業：老人クラブ会員 ②シルバーカード交付事業：65歳以上高齢者
目 的 (何のために)	①在宅高齢者の知識と経験を生かし、その能力と意欲に応じた生産又は創造活動によって生きがいの高揚を図ることを目的とする。 ②シルバーカードの発行により、家に閉じこもりがちな高齢者が外出するきっかけをつくる。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	高齢者の外出や社会参加促進を図り、社会的孤立感を解消し、生きがいを持って生活できるようにする。

事業の実績				
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	生きがいと創造の事業	65歳以上の高齢者に対して陶芸教室・木彫教室・園芸教室の開講	○	
	シルバーカード交付事業	65歳以上の市民に対してシルバーカードの発行、施設入場割引等。	○	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	424	444	444
	必要人員(人件費)	千円	0.11人	0.07人	0.06人
	必要人員(人件費)	千円	815	539	479
	事業費計	千円	1,239	983	923
	国県支出金	千円	254	293	293
	受 益 者 負 担 金	千円			
繰 入 金	千円				
市 債	千円				
そ の 他 ()	千円				
一 般 財 源	千円	985	690	630	
受 益 者 負 担 比 率	%				
結果指標名	単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
教室受講者数	説明	3教室定員30人の合計参加者数			
結 果 指 標 量	事業	67	68	65	
対 前 年 比	%	-	101.5%	95.6%	
活 動 コ ス ト	円	1,239,000	983,000	747,000	
単 位 当 た り コ ス ト	円	18,493	14,456	11,492	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
		目標値 (A)	200	200	300
シルバーカード発行数	実績値 (B)	152	190	479	到達目標値
	達成率 (B/A)	76.00%	95.00%	159.67%	350
	成果指標設定の考え方・式や説明				
高齢者の閉じこもりが解消されれば外出が多くなる					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E> C
	効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
	有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> C

進行年度 (H22年度) の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
説明	生きがいと創造事業は老人クラブの自主運営を促しながらも、孤立しないよう支援を続ける。一部の会員のみ利用となっているので、老人クラブの会議等で積極的に広報をし、新規受講者の掘り起こしを行う。					

総合評価		評価区分 <A~E>
高齢者が創造的活動を通じて生きがいを持って生活することは、介護予防の観点からも重要である。しかし、受益者にかたよりがみられる。		C

平成23年度の方針性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	受益者が一部に偏っている項目があるので、見直しの検討が必要。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい
 事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい
 事業の目的やその他の数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい